

鶴見あけぼの保育園だより2025 2月号

2月3日に立春を迎え、暦の上では春になりましたが、まだ風は冷たくて全国各地で大雪予報が出されています。でも、気づくと水仙や梅が咲き、沈丁花もふくらみ始めています。

私ごとで恐宿ですが、実家の秋田の降雪を日々心配しながら、高齢の親に思いを寄せる日々です。「春よ早く来てください」と祈るような思いです。

園では、一大行事の節分・豆まきを1月31日(金)に行ない、みんなで鬼退治をしました。とんぼ組さんが着々と準備をしてくれて、ヒラキをあちこちの窓に付けてくれたり、鰯(いわし)を焼くための火を起こしてくれたたり...

他クラスも豆入れ作り、大豆の買いもの、そして自分自身の弱い部分を見つめる作業などなど。節分・豆まきはただ怖いだけでなく、一年の中では、大きく成長できる大切な節目(ふしめ)だからと毎年思います。

いっぱい泣いた後は、大きい子や大人にしっかりと抱きしめてもらったり、「頑張ったね!」「怖かったね!」と声をかけてもらったり共感してもらったりして、これまで以上に心がつながりました。そして、ひと皮もふた皮もむけ、大きくなりました。

- ◎怖いこと嫌なことでも逃げずに、向き合うこと
- ◎人と心を通わせること・伝え合うこと
- ◎仲間と共に乗り越えること
- ◎喜びを分かち合うこと



子ども・大人もすべての人にとって大切なことですね。

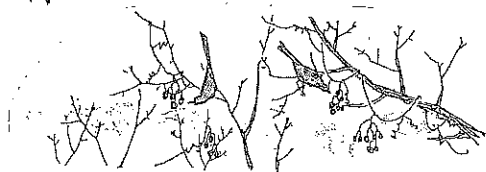
言葉で言うのは、簡単ですが実際は、難しいことです。でも、今、改めて見つめたい。

〈文集原稿作成ありがとうございました。〉

2024年度『あけぼの』文集発行にあたり、原稿を作成、ご提出くださりありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

職員も最終仕上げに向かっています。保育しながらの文集作りは大変ですが、子どもたちひたひたに思いを寄せ、一年間の保育を振り返る集大成の完成を願い頑張っています。

3月の発行、どうぞお楽しみに!



(園長 穴井)

つめくさ保育園さんが来園

2月5日(水)、昨年度より交流させていただいている、川崎のつめくさ保育園のお友達が来てくれました。年長クラスのおおわし組6人・年中クラスのかめ組6人ととんぼ組ちよちよ組の子ども達が、リズム歌、民舞、和太鼓、フォークダンスなどで交流し、その後年長さんは総持寺での鬼ごっこ、年中さんは部屋での遊び交流をしました。子どもも大人も、学びと元気を頂き有意義な時間となりました。